

令和6年9月吉日

みえ次世代育成応援ネットワーク会員企業・団体 様

ワクワクわーく2024実行委員会

代表 吉岡真弓/くわな子ども食堂わくわくフレンズ

桑名市陽だまりの丘3-718-1

090-5022-3223

令和6年度三重県子どもの学び・体験イベント等開催支援補助事業

【ワクワクわーく2024】へご協賛のお願い

謹啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。ごぞいます。

さて、この度 くわな子ども食堂わくわくフレンズは、令和6年12月8日に「ワクワクわーく2024」を開催する運びとなりました。

「ワクワクわーく2024」とは、三重県子どもの学び・体験イベント等開催支援事業の支援により、子どもたちの「学び」や「体験」の機会を創出するものです。地域の民間団体様や企業様等と連携して、地域の特性を生かした取組を継続していくイベントとして、開催させていただきたく存じます。

又、このイベントでは、参加された地域の子どもたちに「学び」や「体験」を通していろんな人たちと出会う・つながる「機会」を多く創っていきたいと考えております。

ワクワクしながら【お仕事=わーく】を体験してもらう意味で【ワクワクわーく】と命名しました。

つきましては、【ワクワクわーく】が掲げる趣旨にご賛同いただきまして、ご協賛いただけますようお願い申し上げます。

尚、イベント概要、ご協賛の詳細を以下、ご案内させていただきます。ご多忙のなか誠に申し訳ございませんが、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

◆実施概要

タイトル	つながる☆多ワクワクわーく 2024
主催	くわな子ども食堂 わくわくフレンズ
共催・後援	(敬称略) 三重県/子ども・福祉部少子化対策課 子ども応援班 桑名市/こども相談センター イオンモール桑名
日時	令和6年12月8日(日) お仕事体験10時～15時予定/お買い物体験10時～16時
場所	イオンモール桑名 3番館ナムコ奥トンデミ跡 及び 本館空きスペース
内容	(予定) 企業様協賛 お仕事体験 企業様協賛 ワークショップ 企業様協賛 PR展示 フードドライブ イオンお仕事調査隊!スタンプラリー わくわくフレンズショップ・子ども食堂
告知方法	チラシ配布 計10,000部 (周辺地区小学校及び各公民館施設) 広報くわな 11月号掲載調整中 情報誌「ぼろん」12月号掲載調整中
来場者数	600名 ※見込み (くわな子ども食堂わくわくフレンズ主催の実施イベント「あそ防災」において、 2022年約600名、2023年約600名、2024年約800名の来場実績あり。)

◆ご協賛いただきたいもの

- イベントブース出店、または協賛品のご提供

ブース出店協賛（1ブース 3m×3m程度 応相談）

- A) お仕事体験（職業体験） + PR 展示 + 協賛品
- B) ワークショップ + PR 展示 + 協賛品

物品協賛

- C) PR（ポスター）展示 + 協賛品
- D) 協賛品

※イベント運営及び必要備品等すべて貴社様で対応を、お願いいたします。

※お仕事体験（職業体験）と、ワークショップの同時実施は、応相談。

※協賛品は、子どもが喜びそうなものを中心に考えていただけると嬉しいです。

- | | | |
|---|------------|---------------------------------|
| 注 | 1. お仕事体験 | : 対象/小中学生 貴社の商品づくりやお客様へのサービス体験 |
| | 2. ワークショップ | : 対象/小中学生 30~60分程度で完成する商品づくり等体験 |
| | 3. PR展示 | : 貴社ポスター等展示 |
| | 4. 協賛品 | : お仕事体験やスタンプラリーの賞品として活用。 |

◆ご協賛のお礼

<貴社名> 事前配布するチラシ・ポスターにて紹介させていただきます。

<貴社名><貴社商品名><PRポイント>をわくわくフレンズホームページ・SNSにて紹介させていただきます。

※指定の文字やロゴは応相談

◆協賛申し込みについて

別紙「出展・協賛申込書」を令和6年9月20日（金）までメールにて送信ください。

協賛の具体的な内容の確定は、10月初旬を予定しております。

※スペース等の都合上、出店をお断りする場合があります。

【くわなこども食堂 わくわくフレンズ 今後の展開】

子どもの居場所：NTN 総合運動公園デイキャンプ場・五反田 HOUSE・光精工コミュニティプラザなど、自然の中、ゆったりした時間を過ごしたり、防災に関連した野外活動を学んだり、地域の大人と子供が安心してつながれる居場所作り

自然の中にいる時間を一緒に作ることで、自分や周りをゆっくり見つめる時間を作り、生き抜く力・危険回避能力などの知識を養っていただけると、考えております。

又、電気に頼らない方法で炊飯と食事、防災に備えた体験等を定期的に行うことで、有事に慌てないで、お互いに協力しあう関係を作ります。

人を見れば怪しい・不審者と疑わなければならなくなった社会の中での子育て支援は、繋がりこそが大切だと現場に立って感じております。

事が起こってからの活動ではなく、事が起こる前からの**繋がり活動**こそが、大切なのではないのでしょうか？

そんな中、地域で安全な関係を築ける子どもの居場所を確保するのは、大変難しいです。地域の子どもが1人でも参加でき、楽しみながら活動でき、お腹も心も満たせていただけたらと思って止みません。

毎週1回、または、学校長期休みの数日。子どもの居場所として、昼ごはんや、くつろげる**場所の提供**と子供が安心して過ごせる場所が創れたらと考える次第です。

2016年3月、毎月1回30名の子ども食堂から始まり、現在は第4木曜日に大山田の施設を使っの「夜の子ども食堂」参加者200名の活動を中心に、GW防災イベント「あそ防災」800名。小規模ランチカフェ。五反田の隠れ家倉庫を使ったデイキャンプなどの催し、まちづくり協議会と連携した地域カフェ。子育て応援サポートのフードパントリー毎月120世帯、専門家と連携した春夏秋冬「星空観察」など、年間100日延べ人数5000人以上の子たちと交流・繋がりを持ち見守っています。今回「ワクワクわーく」を開催することになり、新たな繋がり、各企業様のお力を借りた子どもたちへの可能性の広がりワクワクを感じています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。